

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	No.64 新型コロナウイルス感染症検査費用助成事業	担当課	保健こども課
事業の概要	感染が疑われ、かかりつけ医などにおいて「PCR検査」が必要と判断された町民及び関係者の重症化の防止と蔓延の予防を図るため、かかりつけ医での診察費用など他の制度による補助がない自己負担等に対し、その一部を助成する。		
緊急経済対策との関係	I-2 検査体制の強化と感染の早期発見	事業の始期 事業の終期	令和2年4月 令和3年3月
総事業費	5,066円	事例集番号	－
交付対象経費	5,000円	補助・単独	単独
事業の効果	新型コロナウイルス感染症に感染すると患者やその家族は入院や最低2週間の自宅療養自宅待機となり、収入が減少することが考えられる。 「PCR検査」自体は公費負担されているが、初診料や検体採取料は自己負担となっている。「PCR検査」に付随する自己負担部分を町が負担することで町民の経済的負担を軽減できたと考える。		
事業の様子 (写真等)	助成対象：2件		
備考欄			